



文：小川 康成

こんにちは、梅雨も明け暑い日々が続きますが、如何おすごでしょうか？
オリンピックも始まり、外出自粛の日々なのでTVの前で応援でもしようと思うこの頃です。
世界的にコロナウイルスの再拡大も懸念されている中、一部の地域では経済の回復も始まっておりますが、木材不足「ウッドショック」から始まり、鋼材・レアメタル、半導体、ついには半導体の不足による車や機械製品まで、納期遅れが出始めています。悪いインフレにならないか心配です。

「なぜ、ドライブレコーダーが必要なのか？」



最近、大手保険会社のおすすめは「高性能ドライブレコーダー」をレンタル出来る特約ですが、これは、単純に特約付帯のお勧めという側面より、ドライブレコーダーがお客様自身の身の潔白を証明する能力がある事に着目しているからです。

我々の大きな使命である、事故を予防し未然に防ぎ、減らしていく観点から見てみましょう。

昨年来、話題になっている「あおり運転」の影響でドライブレコーダーを装備している人が増えていて、私もお客様に確認すると約半分のお客様はドライブレコーダーを付けている印象です。少し古い調査ですが、2018年でも普及率は31.7%というデータもあり、年々1.5倍のペースで普及しているそうです。私の感覚とも大体同じです。

最近の売れ筋の価格帯は、大体店頭販売価格で3万円後半から5万円台で、駐車中も撮影出来たり、鮮明な画像で記録できる、いざという時に本当に役に立つ商品に移っているそうです。専門家の話を聞いたことがあるのですが、おすすめはP社とKW社が高性能で壊れにくく、いざという時にきちんと撮影出来ているそうです。



ドライブレコーダーの最大のメリットは瞬間の人間の記憶ではあいまいではっきりしない事が、画像として客観的に後で検証できる事で、双方・第三者も含めて誰もが異論が無い結果が残されている事です。下記は事故の例です。

【身を守る事例】

◆夜間に青信号で交差点に入ったら、横から歩行者が飛び出してきて衝突

ドライバーはその場で身柄を拘束されましたが、警察がドライブレコーダーを押収して画像を検証した結果、ドライバー側の信号が「青」であることが証明されたため、運転者は不起訴。刑事罰も行政罰も来ませんでした。



～もし、ドライブレコーダーが無かったら～

- 歩行者が意識不明の為、ドライバーは身柄を拘束されたまま。
- 信号の色を客観的な方法で証明出来ず、歩行者の家族からは加害者扱いされ、賠償請求受ける。
- 検察から起訴され場合によっては「前科」となり、行政処分で「免許証」にも影響がある。



まさにドライブレコーダーが身の潔白を証明し、自分の暮らし、社会的地位も守れた例です。

特に相手が子供の事故では、飛び出した子は自分が悪い事を自覚しているが、親などから怒られるのが怖くてそのまま立ち去りがちです。しかし、後になって親が警察に通報して、運転者が警察にひき逃げで逮捕される事例も実際に起こっています。自分の身を守る為にもドライブレコーダーが有効になります。



メンバー 近況報告

ついに優勝！

岩瀬 英之

先日新城テニス協会の大会に参加してきました。ここの試合は一日で男子ダブルスとミックスマックスダブルスを両方にエントリーができる大会で、この時期に両方は体力的に厳しいかなと思いつつ両方ともにエントリーしました。前回出た時は男子ダブルスが優勝、ミックスマックスダブルスが準優勝でしたので、今回は両方優勝を目標に挑んできました。午前中は男子ダブルスから始まりました。到着したときは木に囲まれていて涼しいかなと思いましたが、始まってみると日差しが強くて立っているだけで汗が止まらないくらいでした。14時くらいまでかかり男子ダブルスを終えて無事優勝することができたのはよかったのですが、暑さもあって体力をかなり消耗してしまいました。決勝戦まで進んでいたため他の人たちは先にミックスマックスダブルスの試合を進めていたため、休憩もあまり取れないままどんどん試合に入らないといけなく足を攣りかけながらプレイしてきました。夕方になると少し暑さも和らいで楽になってきたのもあり、ミックスマックスダブルスの決勝で力を出し切って勝つことができました。男子ダブルス5試合、ミックスマックスダブルス4試合で大変でしたが、29歳になって初優勝できたのでとても充実した一日になりました！



オートファジーに期待

古川 友架

今話題の青木厚さんの著書「空腹こそ最強のクスリ」を読んで、だいぶ前にミトコンドリアについての本を読んだことがあり、ミトコンドリアを活性化させる方法の一つに空腹の時間が大事であるという内容を思い出しました。1日3食が当たり前でそれがよいと思っていましたが、1日3食だと内臓が休む時間がないそうです。1日2食で16時間空腹の時間を作ることが内臓をしっかり休ませることができ、自食作用(オートファジー)が働き、体内の古くなった細胞が蘇るとのこと。このオートファジーは世界中で注目されているようです。以前はまだ体調も悪くなく、空腹は我慢できないなど、特に何もなかったのですが、今回の著書を読み、具体的な方法や効果が書いてあったので、これは期待できるかも？と朝食抜くだけなので実践してみています。まだ2週間目ですが意外とお腹が空かないし、他事をしていたらそんなに苦にはならず今のところ続けられています。最初の数日で1キロ落ちましたが、それ以外の効果はまだわかりません。本書によると、「内臓の疲れがとれて、内臓機能が上がり、免疫力もアップする」「血糖値が下がって、インスリンの適切な分泌が促され、血管障害が改善される」「細胞が生まれ変わり、体の不調や老化の進行が改善する」等様々な効果があるそうです。私は免疫力UPと肌の若返りを期待して続けてみようと思います(笑)



異常気象の頻発！！

小川 真紀

連日の猛暑や突然の雷雨など、悪天候が続いている事で、体調が崩れてしまいそうです。

7月中旬からのオリンピックが自国開催のため、時差が無く色々な競技がテレビ観戦出来ますが、せっかくの自国開催を生で観戦する事が出来ず少しさみしいです。

それと民放テレビで放映されない競技が有り、悲しかったです。

今年の6月や7月にアメリカやヨーロッパ～ロシア、東シベリアの北半球全体で、40℃を超え49.6℃など、最高気温の記録を更新していましたが、世界各地で地球温暖化や海水温の上昇による異常気象などが起きていますね。日本でも、7月初旬に静岡県熱海市での記録的な大雨による大規模な土石流の発生、7月末には、台風が統計開始以来初めて東北地方への上陸など記録的な事が起きています。以前の台風は、沖縄や九州地方に上陸して日本列島を横断しながら北上するルートしか起きなかったので、東海地方や東北地方に来る頃には勢力が弱まり、水害や風災の心配はあまり大きく無かったし、豪雨による大雨の場合は、川などの近くに住んでいる人達だけが水害の備えが必要でした。ですが、今はいつどこで豪雨など自然災害が起きるか分からなくなってしまったので、みんなが日頃から風水害などの防災準備を行う事が必要となりました。今一度、防災について考えましょう。

